

日本文化研究班

研究プロジェクト代表

赤間 亮

(立命館大学大学院文学研究科・教授)

「俳諧資料の系統的研究」プロジェクト

1, 「花供養」集成の編集

京都東山芭蕉堂が全国展開で行った年刊句集に「花供養」がある。芭蕉堂とは、高桑蘭更が松尾芭蕉を顕彰するために天明3年(1783)年京都東山に建てたもので、ここを拠点に天明6年(1786)以降、毎年芭蕉会を修して、「花供養」を刊行したのである。本プロジェクトでは、「花供養」を通じて、寛政期以降の俳諧史の一斑を考察するものである。

これまで、「花供養」全体の紹介はされてきたことがなく、現存の確認されている全冊(天明6年から明治3年)の全文を翻刻公開し、併せて書誌調査を報告するものである。なお、アート・リサーチセンター所蔵品ならびに関係者所蔵本については、デジタル画像をWEB公開する予定である。

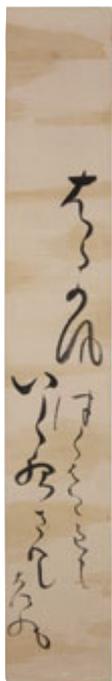


天明6年「花供養」
舞鶴市糸井文庫蔵

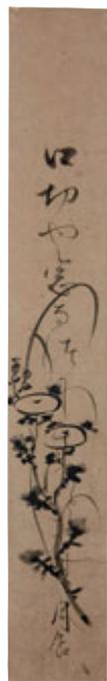
2, 俳諧・桜井文庫のグローバル公開

俳諧研究者故桜井武次郎氏の旧蔵本(桜井文庫)がアート・リサーチセンターに所蔵されている。本コレクションは、俳諧史の全般をたどれる稀有なコレクションの一つで、このコレクションを全て公開して、俳諧研究に寄与するものである。

その皮切りに「江戸期俳人短冊展」を開催する(会場：アート・リサーチセンター、会期：2009年3月24日～4月17日)。ここでは、桜井コレクションのみならず、個人所蔵品の未公開短冊も展示し、併せて初めての短冊研究用手引書「俳人短冊譜」を制作する。本書では、料紙の地模様とその時代の筆蹟が同時に読み取れる学術レベルの図録として世に問いたい。



大江丸



月居